



活動 NEWS

Topic 5 JR桃太郎線LRT化の協議中断 (自由民主党岡山市議団代表質問)

Q 中断決定までの経緯及び、再開可能な具体状況は。中断がなぜ今なのか。中断中の作業は。地域住民に説明すべきと考えるが。

A 新型コロナウイルスのため岡山市、総社市、JR西日本の対面協議が進まないことから2月9日協議した。LRT化する考えは変わらないが、三者の財政・財務状況を踏まえ基本計画策定を中断する。コロナ禍の今、大きな支出を決断することは困難である。再開は、感染症の収束状況等を鑑み、その時期を検討する。今後、毎年、予算編成時期に再開について話し合うこととした。

現在、各地域での説明会は予定していないが、ご要望があれば伺って説明したい。



松田たかゆき 事務所

TEL&FAX / 086-287-5697

〒701-1333 岡山市北区立田140番地8
HP : <http://www.takayuki-matsuda.com>
mail : t-matsuda@takayuki-matsuda.com

■プロフィール
・三井造船(株) 玉野造船所
・岡山市役所
建築設備の設計施工管理
廃棄物・地球温暖化対策事業
ESD 国際会議誘致等
・(公財) 岡山市ふれあい公社
・2015年 岡山市議会議員 初当選
・2019年 岡山市議会議員 二期目当選
■所属委員会
・都市・環境委員会 委員長
・新庁舎整備調査特別委員会

日々の活動日記更新中!
松田たかゆき



市政または地域のことについてご相談・ご要望等ございましたらお気軽にご連絡下さい。

岡山市議会議員(北区選出) 自由民主党岡山市議団所属

松田たかゆき 市政活動報告

Vol.11
令和3年 春号

ごあいさつ

岡山市における新型コロナウイルスの感染状況につきましては、1月4日から1月10日までの201名をピークに現在は減少傾向にあります。このように新規感染者が抑えられているのは、皆様がマスクの着用や手洗い、3密の回避など感染防止対策を徹底していただいているお陰であり感謝申し上げます。

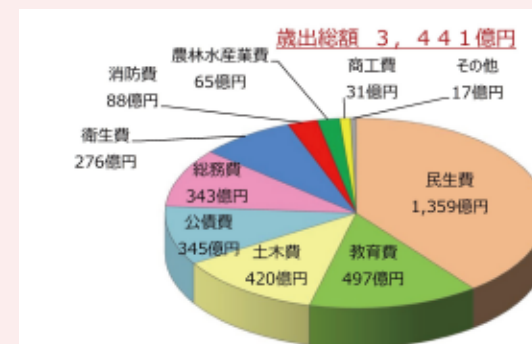
議会においても、感染拡大防止や新しい生活様式への取組みに切れ目なく注力しつつ、地域経済や市民生活への支援に必要な予算を求めてまいりました。結果、新型コロナ対策予算として2月補正予算では、ワクチン接種関連経費など約70億円、当初予算では、現時点で市民生活支援関連経費など約16億円を確保しています。

今回の市政報告【VOL.11】では、11月及び2月定例会市議会の質問と答弁、ここ半年間の活動の一部をお伝えいたします。一層のご高配とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

岡山市議会議員 松田隆之

Topic 1 令和3年度当初予算一般会計

歳出総額
3,441億円



市民一人
当たりの
予算額



Topic 2 デスティネーションキャンペーンへの参画

【事業趣旨】

JRと地元自治体が連携して行う大型誘客キャンペーン「デスティネーションキャンペーン(DC)」の開催にあわせ、吉備路エリア等で各種事業を実施する。(R4年7月~9月本番・R3年プレキャンペーン・R5年アフターキャンペーン)

【事業内容】

高松城址VR制作・資料館建替え

羽柴秀吉の水攻めで名高い備中高松城のVR(仮想現実)映像を制作する。コンピューターグラフィックス技術を用いて備中高松城の外観や堤防を築いて足守川の水を注ぎ、城を孤立させた水攻めの様子を再現し観光客に視聴してもらう。また、令和3・4年で、高松城址公園資料館建替え事業を実施する。

吉備路周遊バスの運行

日本遺産「桃太郎伝説のうまれたまちおかやま」の構成文化財や足守地区など、吉備路エリアを結ぶ周遊バスを運行し観光誘客につなげる。

桃太郎大通りライトアップ

岡山駅から岡山城周辺までを光で華やかに彩ることで、夜のまちなかの回遊性の向上と宿泊の促進を図るなどナイトタイムエコノミーを活性化させる。



令和3年2月定例市議会 質問と答弁(抜粋)

1 市民サービスの向上について

Q 24時間365日、自動応答するAIチャット(会話)ボット(ロボット)を導入予定ですが、導入効果と、市民への対応は。

A 年間約32万件の問い合わせがあり、その2割の6万4千件が対応可能と見込んでいる。AI(人工知能)の学習機能により高い回答率の実現を目指す。情報を案内出来なかった場合には、電話番号を案内するなどの対応を検討する。

Q オンライン申請サービスの導入について、具体的内容とスケジュールは。また、おくやみ窓口の設置場所と開設時期は。

A マイナンバーカードを利用し、スマートフォン等で申請から手数料決済までを想定している。令和3年度中に、住民票、印鑑登録証明書など5種類と転出届について導入予定。おくやみ窓口は、新年度5月以降の早い時期に、各区役所に開設する。

2 吉備路エリアの魅力向上について

Q 「千足古墳保存整備」について示せ。

A 来年度は、前方部の墳丘造成、埴輪レプリカの設置、石室内の見学設備の整備等を行い、令和4年度の完成を目指す。完成後は、造山古墳と一体的に管理・活用し情報発信に努める。



Q 足守は、町並み保存地区でありながら観光客は減少の一途です。「誘客促進策」は。

A 吉備路周遊バス、木下権之助の屋敷門の保存整備を予定している。関係係局等と連携し、取組みを模索したい。

Q 「足守歴史ふれあい通り」を「矢掛町本陣通り」のように、無電柱化や、空家を利用したカフェなど、若者が集う通りにできないか。

A そうした取り組みは、全体としては民間の動きが主になると思う。市の地域振興基金を用いた「地域未来づくり推進事業」も活用し、商工会など地元だけでない資本も投入することも含め、足守を盛り上げていくことについて地元と共に研究したい。



3 耕作放棄地対策について

Q 耕作放棄地への指導と支援制度は。

A 農業委員会は、こうした農地を把握するため毎年、利用状況調査を行い、保全管理ができていない場合は、土地所有者等を調査した後、文書や口頭で適切な管理をお願いしている。農業を再開することを前提に、農業委員会が草刈りを行う事業がある。



4 浸水対策について

Q 樋門の電動化と、情報連絡体制の整備は。

A 電動化は、地元要望により規模や重要性、使用頻度により優先度を付けて進めている。連絡体制は、現在、水利関係者との連絡体制を構築しているところ。

Q 30年7月豪雨で、浸水の恐れがあった農林排水機場への対策と、吉備津地区への内水浸水対策を示せ。

A 建屋浸水5カ所、敷地内冠水は立田排水機場ほか10カ所であり、止水版の設置や屋外操作盤の嵩上げ等を順次進めており、立田排水機場には止水版を設置する。吉備津地区では、西川の事前水位調整のほか、流域治水の側面も含め関係係局と連携し浸水被害軽減に努めたい。(今年度、西川に簡単な連絡用水位計を設置する。)



Q 用水路の事前水位調整には、適時適切な樋門操作が必要で、そうした農業用以外の樋門操作に手当を支給できないか。

A H30年の農業水利土木員の報酬改定時には、そうしたことも考慮したのではない。近隣自治体や諸事情を見て、相応しい報酬額はあると思うので検討したい。

令和2年11月定例岡山市議会 質問と答弁(抜粋)

1 令和3年度予算と財政運営について

Q 財政運営の健全性について、現状と見通しは。

A 財政指標のうち、経常収支比率は89.8%で政令市首位、実質公債費比率は6.3%で同7位、将来負担比率9.3%同2位と各種財政指標は概ね改善傾向です。しかし、コロナ感染症が不透明な状況で、市税収入の減収も見込まれ国の地方交付税のほか、国の第三次補正予算の状況も注視しつつ、必要な事業を見極めながら対応したい。

Q 「ふるさと納税」、岡山市への寄付額と今後の取組みは。

A 今年度の寄附額は、10月末現在で1億1千万円余であり、今年度より寄附額を千円単位への細分化や、返礼品の新規開拓に取り組んでいる。また、人気の返礼品である桃、ブドウが1年を通じて申込み頂けるよう、先行予約を10月から開始している。

2 子ども・子育てプランについて

Q 市立幼稚園・保育園の社会福祉法人や学校法人への移管及び、廃園についての方針は。

A 民間移管については、事業者の参入の意向などを反映させた選定基準に基づき順位付けを行い、説明会を実施しているほか、市立認定こども園の整備に合せて、候補園以外の園に民間移管や廃園の説明をしている。また、在園児10人以下の過小規模幼稚園については、保護者や地域関係者へ施設の統廃合について説明している。



Q 放課後児童クラブの支援員の確保、学校との連携、障害を持つ児童への対応は。

A 各クラブを巡回し、支援員からの相談を受けたり学校との調整を行っています。障害を持つ子どもへの対応は、発達障害等をテーマとした研修の実施や主任支援員会議で事例対応の情報共有を図りより適切な対応が出来るよう努めている。



3 GIGAスクール構想について

市は、今年度末までに全ての児童・生徒に1人1台のパソコンの配備や、通信ネットワーク環境の整備を完了し、来年度から情報通信技術・ICTを活用した「GIGAスクール構想」による授業が始まります。



Q GIGAスクール構想により、教員及び子どもの将来はどう変わってほしいのか。

A 1人1台端末を取り入れた授業を日々展開することで、児童・生徒のICT活用スキルが向上し、文房具のように使いこなせるようになることを期待している。将来的には、あらゆる場面でICTを効果的に活用し、自分の考えを構築したり表現したりする人材を育成したい。

Q オンライン学習に必要な環境整備の具体的内容とスケジュールは。

A 家庭学習のためのモバイルWi-Fiルーターの貸し出しにつきましては、感染拡大時における臨時休業期間としており、今年度は、1か月分の経費と3,000台分の購入費用を予定している。

4 ハザードマップと浸水対策について

Q 笹ヶ瀬川流域の24時間総雨量654mmなど、最大規模の降雨量に基づくハザードマップの改訂作業中と聞くが、進捗状況と、配布時期を示せ。

A 今年度中の完成を目指しているが、河川管理者の浸水想定見直しが遅れており、作業終了後速やかに公表する。完成後は、市有施設窓口や、市のホームページ、出前講座等にて周知を図る。

Q 平成30年7月豪雨と同程度の降雨があった場合、同様な浸水被害は起きないのか。

A 国、県及び上流市町村と連携協力するとともに、市では、河川、下水道によりハード対策や農業用水路の事前水位調整等ソフト対策も一体となった流域治水を積極的に推進し、同程度の降雨に対しても、被害が軽減されるよう浸水対策を継続し推進していく。



Topic 4 岡山芸術創造劇場

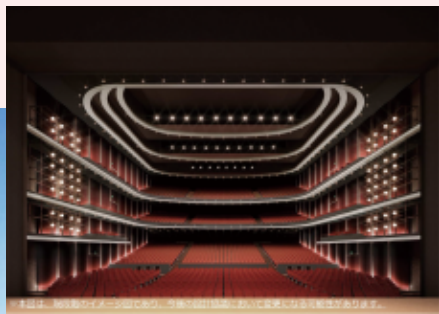
【事業趣旨】

新劇場の整備により文化力の向上を図るとともに、中心市街地の活性化、回遊性の向上など、まちの魅力アップや新たな賑わいの創出につなげる。

【所在地】 岡山市北区表町三丁目

施設概要 専有面積 19,663㎡(B2階～6階)
大劇場(1,750席程度)
中劇場(800席程度)
小劇場(300席程度)
大・中・小練習室 他
平成28年度～令和5年度夏頃

整備期間 235億円(見込)市街地再開発事業で
取得費 商業・住居等との複合施設として整備
使用料等 岡山芸術創造劇場条例・施行規制による



Topic 3 新たな生活交通(予約型乗合タクシー)

【事業趣旨】

人口減少や高齢化が進展する中、公共交通不便地域において、高齢者等の日常生活を支える移動手段として、新たな生活交通を確保する取り組みを支援する。

【事業内容】

地域住民主体で地域ごとの特性に応じた生活交通の運行を計画し、試験運行を実施する中で実際のニーズを把握し、運行改善を行いながら本格運行を実施する。

本格運行 迫川地区、千種地区、馬屋上・野谷地区、角山地区、城東台・草ケ部地区

試験運行 牧山地区



千種地区予約型乗合タクシー視察

地元負担 令和3年度より運行経費の80%を公費で、20%を運賃収入で補うこととなり、「足守地区生活バス」及び6地区の地元負担額は大きく軽減される。

